

第4章 神戸市の歴史文化の特徴

神戸市の自然・地理的、社会的、歴史的な環境及び文化財の状況を踏まえ、神戸市の歴史文化の特徴として、下記の3つの特徴を抽出した。

①兵庫津・神戸港と街道が育んだ多文化共生のまち（交流の側面からの特徴）

神戸市は、摂津国と播磨国に位置しており、山陽道や瀬戸内海航路など陸海の交通の要衝として古来重要な位置を占め、海外や日本各地の文物が集まってきた。

その重要性は、畿内への入り口と言える場所である明石海峡を見渡す位置に、兵庫県下最大で、かつ大王級の古墳である五色塚古墳が築かれたことから明らかである。奈良時代には、行基により重要な港の一つとして大輪田泊が築かれたことに始まり、平清盛による改修を経て近世に兵庫津と呼ばれた港を中心に栄えてきたこと、そして、開港五港として兵庫（実際は神戸港）が選ばれたことなどが示している。その後、神戸開港を機に建設された神戸外国人居留地が諸外国からの窓口となり、様々な出自の人々が訪れた。神戸港が国際港として開かれるとともに、関西でいち早く鉄道が開通した。現在では空の玄関として神戸空港も建設され、陸・海・空の結節点として多くの人やモノが神戸市域を行き交っている。

神戸に集まった人々は、様々な地域コミュニティを形成し、海と山が近接する地形を活かしながら暮らしやすい町を作った。そこで育まれた多様な価値観・開放性・ゆとりのある生活様式を基に、神戸らしい文化や芸術が醸成された。

また、六甲山系を挟み、北側にも東西をつなぐ街道が通っており、各時代を通じて人や文化を運んだ。それを示すように街道に沿って北区や西区に社寺や石造物が築かれ、現在に至っている。さらに都市部と農村地域は、街道や河川など様々な“みち”を通して有機的な繋がりを持ち交流を続けてきた。

このような歴史が、地域コミュニティを基盤として新しいものをいち早く取り入れる一方で、伝統的な行事などを大切にする文化的な寛容さを育て、多様な文化が融合する都市となった。

②六甲山系と瀬戸内海とともに生きるまち（環境と文化の側面からの特徴）

瀬戸内海に面し、六甲山系やその北や西に広がる農村地域を有する神戸市は、非常に豊かな自然環境に恵まれている。人々はこの優れた海と山の景観を財産として親しみ享受してきた。さらにその地の利を活かし、須磨海岸や有馬温泉、六甲山でレジャーを楽しみ、社寺や公園の木々に癒され、瀬戸内海や農村地域でとれた新鮮な海の幸・山の幸を手に入れることができる。

このような環境の多くは、手付かずの自然環境というのではなく、地域の人々との関係により形成されたものである。時には過度な開発により阪神大水害のような災害を被る一方で、北区・西区の里山整備や明治時代の六甲山の砂防植林による植生回復を行うなど自然環境の保全にも取り組んできた。このように人々は様々な開発により常に新しい都市文化を創造してきた。その一方で、自分たちの地域コミュニティが安定して営まれるために、祭礼や習俗を継承してきた。そうした人々の活動により作り上げられてきたのが現在の神戸市と言える。大都市でありながらも今も伝統文化と自然に触れ合うことができる環境を守り育んだ。

③復興と創造のまち（災害復興の側面からの特徴）

平成7年（1995）1月17日、巨大地震が神戸市を襲った阪神・淡路大震災から早くも27年の月日が経過した。この地震により数多くの建造物が倒壊、焼失し、町の様子や人々の生活を一変させた。このような災害は決して初めてではなく、過去に様々な災害に見舞われている。文禄5年（1596）に発生した慶長伏見地震は、福祥寺（須磨寺）に伝わる『当山歴代』などにも記録され、発掘調査などでも市内各地でその痕跡が見つかっている。昭和13年（1938）の阪神大水害などの自然災害、源平合戦をはじめとした多くの戦災、そして第二次世界大戦における神戸大空襲などの人的災害など多くの災害があった。これらの災害は、神戸の地形や歴史的背景に起因するところであり、各時代を通じて重要な場所としてあり続けたためであった。

神戸市はこのような様々な災害に見舞われ、その度に復興を果たしたことを遺跡や歴史資料、人々の記憶の中に見ることができる。今も地域に多くの文化財が伝えられているのは、復興の過程で人々の暮らしにとって大切なものとして意識され、守られてきたからである。現在も伝わる伝統的な祭り・行事は、地域コミュニティの維持のために、重要な役割を持ち、継承されてきたと言える。また、阪神・淡路大震災では、復興の過程で失われる危機にあった被災文化財を保護することを目的として、文化財レスキューの活動やヘリテージマネージャーの養成が始まり、今ではその活動は全国に広がっている。

このように様々な災害の苦難を乗り越え、文化財を守り、活かして復興を遂げてきた。災害と復興の過程から得られた経験や知識を活かし、文化を創造し発信するまちである。